

平成28年度 自然災害に関するオープンフォーラム

『自然災害の避難学』構築を目指して

主催：日本自然災害学会・日本災害情報学会・静岡大学防災総合センター

共催：京都大学防災研究所

後援：(一財)防災研究協会

1. 目的

災害による被害の中で最も深刻なものは人の生命が失われること（犠牲者の発生）である。その犠牲者の発生を減らすため、重要なキーワードとなるのが「避難」である。わが国では避難に関わる問題は古くから存在し、今日においても災害対策における中核的な課題である。現在、日本災害情報学会、日本自然災害学会の中堅研究者を中心に、様々な既存学問分野を基盤として、災害による人的被害の軽減に資する新たな実践的学問分野として『(自然災害の)避難学』を構築することを目指した議論が始まっている。この取り組みのキックオフミーティングとなるような意見交換を行いたい。

2. 日時・場所

2016年9月22日(木・祝日) 09:30～12:30

静岡県地震防災センター ないふるホール

(静岡市葵区駒形通5丁目9番1号)

3. 内容

趣旨説明(10分)

静岡大学防災総合センター

教授 牛山 素行

基調講演「避難の心理学 ―リスクの情報／情報のリスク―」(60分)

京都大学防災研究所

教授 矢守 克也

<10分休憩>

パネルディスカッション『自然災害の避難学』構築を目指して(100分)

趣旨：国内外の災害の多発を受け、災害被害を軽減するために防災研究が重視されている。しかしながら避難、避難を促すような情報に関わる研究や取り組みは、災害が

新たに発生する度に対処療法として、災害種別毎に議論され、全体最適が図られていないという課題がある。「避難」という研究領域は社会的に重要視されつつも、自然科学、工学、人文・社会科学の境界領域に位置し、複数の既存学問の視座それぞれから研究者がアプローチしているものの、学術的な体系化や論点の整理が不十分であることに大きな問題点があると考えられる。ここでは、さまざまな立場の研究者から「避難」に関わる学術研究の現状、課題、将来像について議論を行いたい。

コーディネータ：牛山 素行（静岡大学防災総合センター教授）

パネリスト： 金井 昌信（群馬大学）

関谷 直也（東京大学）

秦 康範（山梨大学）

廣井 悠（東京大学）

4. 参加方法

- ・参加費は無料です。
- ・事前申込は不要です。どなたでも自由に参加できます。ただし会場の定員は 180 名で、先着順となります。
- ・会場の駐車場は限られていますので公共交通機関等を御利用ください。

5. 問い合わせ先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学防災総合センター

TEL:054-238-4254 FAX:054-238-4911

E-mail: sbosai@sakuya.ed.shizuoka.ac.jp

★事前申込は不要ですので、参加の申込、参加についての許可申請などの連絡はご遠慮ください。